

6. 実態把握・評価の調査結果の実態

大崎博史

6-1 自立活動の指導の際の幼児・児童・生徒の実態把握方法

表6-1は、自立活動の指導の際の幼児・児童・生徒の実態把握をどのような方法で行なっているのかを調査した結果を示したものである。

全有効回答数747件のうち、「諸検査を活用している」が531件（71.1%）、「行動観察をする」が713件（95.4%）、「保護者からの聞き取りをする」が652件（87.3%）、「前担任から情報を収集する」が660件（88.4%）、「主治医などから医療情報を収集する」が484件（64.8%）、「他機関に検査等を依頼する」が44件（5.9%）、その他が58件（7.8%）であった。ほとんど全学校で、子どもにかかわる人が他の機関に検査等を依頼するだけではなく、直接的に幼児・児童・生徒の実態把握の情報を収集していることがわかる。

また、学校種にかかわらず、全ての学校で「行動観察をする」が90%以上超える高い比率で幼児・児童・生徒の実態把握の方法として実施されている。

学校種ごとの分析では、聾学校では、73件（91.3%）が幼児・児童・生徒の実態把握として「諸検査を活用している」とあげている。後の表6-2と合わせて考えると、実態把握の方法に聴力検査が関連していることが考えられる。

「主治医などから医療情報を収集する」は、肢体不自由養護学校125件（83.3%）と病弱養護学校77件（96.3%）と、他の学校種に比べて多い。実態把握の方法として子どもの医療情報の把握も関連していることがわかる。

6-2 自立活動の指導の際の実態把握に利用する検査法

表6-2は、自立活動の指導の際の実態把握に利用する検査方法を調査した結果である。

全有効回答数651件のうち、発達検査524件（80.5%）、知能検査375件（57.6%）を実態把握に利用している学校が多いことがわかる。

学校種ごとの分析では、盲学校が視力検査55件（93.2%）、ろう学校が78件（100%）と各々の学校の特性を表す結果が出ている。また、養護学校（知的、肢体不自由、病弱）では、発達検査と知能検査を実態把握に利用している学校が多い。

6-3 自立活動の評価方法

表6-3は、自立活動の指導の評価方法を調査した結果である。全有効回答数746件のうち、「個別の指導目標について、取り組みの様子をとらえ記述」が638件（85.8%）と多かった。個別の指導計画が普及している現在、自立活動についても子ども一人一人の指導目標を立てて評価していることがわかる。また、「学校独自に、評価の視点、項目等を作成して評価している」が33件（4.4%）であった。学校独自には評価の視点、項目を作成して評価しているところは少なかった。

尚、約1割の学校が、「評価のあり方を検討中である」こともわかった。

学校種ごとの分析でも同様の結果が得られた。特に、ろう学校では、「評価のあり方を検討中である」が12件（15%）あった。

表6-1 幼児・児童・生徒の実態把握方法

	件数	諸検査を活用している	行動観察をする	保護者からの聞き取りをする	前任者から情報を収集する	主治医などから医療情報を収集する	他機関に検査等を依頼する	その他	無答	有効回答数
合計	753	531	713	652	660	484	44	58	6	747
		71.1	95.4	87.3	88.4	64.8	5.9	7.8	0.8	99.2
盲学校	61	46	59	53	56	31	3	9	0	61
		75.4	96.7	86.9	91.8	50.8	4.9	14.8	—	100
聾学校	81	73	73	54	70	25	5	4	1	80
		91.3	91.3	67.5	87.5	31.3	6.3	5	1.2	98.8
知的障害養護学校	381	268	361	340	332	226	22	22	5	376
		71.3	96	90.4	88.3	60.1	5.9	5.9	1.3	98.7
肢体不自由養護学校	150	105	147	135	136	125	4	19	0	150
		70	98	90	90.7	83.3	2.7	12.7	—	100
病弱養護学校	80	39	73	70	66	77	10	4	0	80
		48.8	91.3	87.5	82.5	96.3	12.5	5	—	100

表6-2 実態把握に利用する検査方法

	件数	知能検査	発達検査	聴力検査	視力検査	その他	無答	有効回答数
合計	753	375	524	164	125	130	102	651
		57.6	80.5	25.2	19.2	20	13.5	86.5
盲学校	61	23	41	14	55	13	2	59
		39	69.5	23.7	93.2	22	3.3	96.7
聾学校	81	37	51	78	4	21	3	78
		47.4	65.4	100	5.1	26.9	3.7	96.3
知的障害養護学校	381	211	281	47	45	51	51	330
		63.9	85.2	14.2	13.6	15.5	13.4	86.6
肢体不自由養護学校	150	66	113	22	18	27	26	124
		53.2	91.1	17.7	14.5	21.8	17.3	82.7
病弱養護学校	80	38	38	3	3	18	20	60
		63.3	63.3	5	5	30	25	75

表6-3 自立活動の評価方法

	件数	学校独自に、 視点・項目等 して評価している	個別の指導目標に ついて、取り組みの 子をとらえ記述	評価のあり方を検討 中である	その他	無答	有効回答数
合計	753	33	638	69	6	7	746
		4.4	85.5	9.2	0.8	0.9	99.1
盲学校	61	1	55	5	0	0	61
		1.6	90.2	8.2	—	—	100
聾学校	81	3	63	12	2	1	80
		3.8	78.8	15	2.5	1.2	98.8
知的障害養護学校	381	16	320	37	3	5	376
		4.3	85.1	9.8	0.8	1.3	98.7
肢体不自由養護学校	150	8	133	8	0	1	149
		5.4	89.3	5.4	—	0.7	99.3
病弱養護学校	80	5	67	7	1	0	80
		6.3	83.8	8.8	1.3	—	100